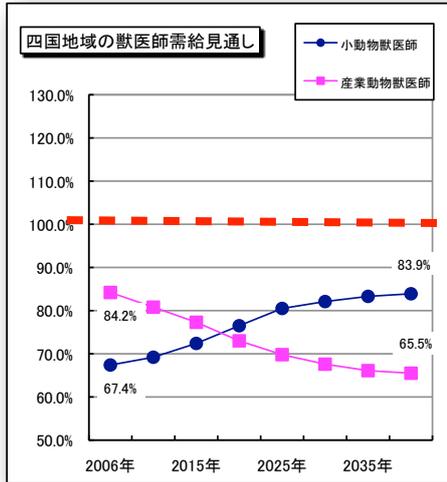


(No. 1) 構造改革特区制度にて愛媛県今治市に 獣医学部設置申請をおこなう理由

愛媛県と今治市が提案する、獣医師養成機関（高等教育機関）の設置を求めて構造改革特区にて申請
※大学設置母体は、学校法人加計学園（岡山理科大学）



四国地域の獣医師不足



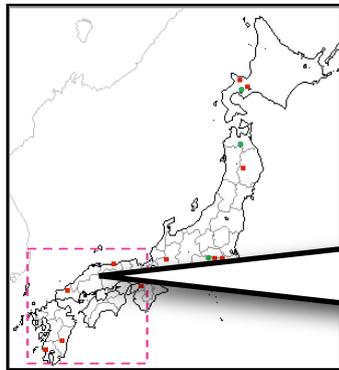
構造改革特区申請 愛媛県今治市 獣医学部の新設

- ポイント
- ① 獣医師養成大学の偏在
 - ② 獣医師不足の解消
 - ③ 獣医師の卒後教育・生涯教育
 - ④ 獣医教育の改善

獣医学部の新增設は抑制方針にあるため構造改革特区で申請

資料：獣医師の需給に関する検討会報告書
(平成19年5月) 獣医師の需給に関する検討会 農林水産省より

(No. 2) 獣医師養成機関の偏在と空白地帯



獣医師養成機関(大学)

- 国公立大学 11大学(東6校・西5校)
- 私立大学 5大学(東5校・西なし)



東日本

設置	大学名	入学定員
国立	北海道大学	40名
国立	帯広畜産大学	40名
私立	酪農学園大学	120名
私立	北里大学	120名
国立	岩手大学	30名
国立	東京大学	30名
国立	東京農工大学	35名
私立	日本獣医生命科学大学	80名
私立	麻布大学	120名
私立	日本大学	120名
国立	岐阜大学	30名
計		765名

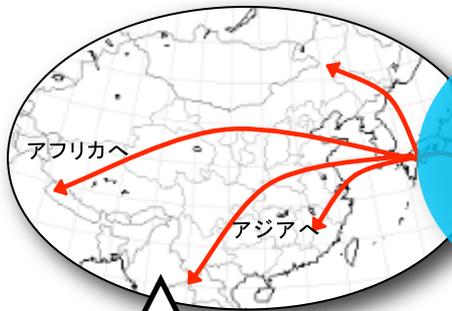
西日本

設置	大学名	入学定員
公立	大阪府立大学	40名
国立	鳥取大学	35名
国立	山口大学	30名
国立	宮崎大学	30名
国立	鹿児島大学	30名
計		165名

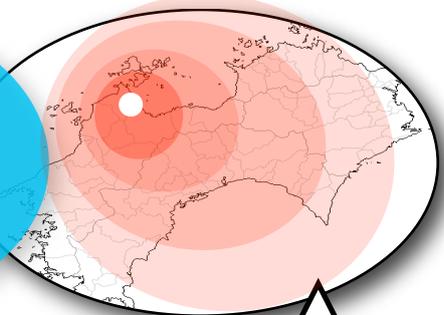
(No. 3) 今回の構造改革特区提案申請における 獣医学教育の現状への対応と特色

国際社会への貢献

四国地区での役割



動物の健康
人の健康
食の安全・安心
世界の環境



- ①人獣共通感染症対応
(新興・再興感染症)
- ②留学生への獣医学教育
(母国で活躍する人材)
アジア・アフリカ地域

予防と診療の中心的人材

岡山理科大学 (今治キャンパス)

<<人材育成>>

- 1) 小動物臨床獣医師・産業動物獣医師
- 2) 公衆衛生・家畜衛生の行政担当獣医師
- 3) 養殖漁業に寄与する獣医師
- 4) 地域社会・国際社会に貢献できる獣医師

- ①獣医師不足の解消
- ②動物診療の中核
- ③獣医師の卒後教育
生涯教育
- ④養殖漁業へ寄与

地域獣医療の中心的人材

連携



愛媛大学

無細胞生命科学研究センター
沿岸環境科学研究センター

獣医師の卒後教育・生涯教育

教育体制

国際水準を視野に入れた外国人を含む
教員組織、教育内容、教育施設設備
高度獣医療臨床センター (高次・二次医療)
教育動物病院 (地域動物医療の中核)

専門科目

標準カリキュラム+独自科目
= 構想獣医学部教育科目

重点3分野

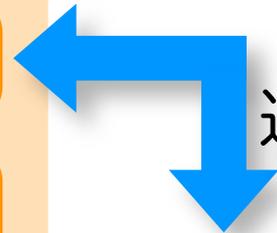
産業動物分野・公衆衛生分野・小動物臨床分野

野生動物分野・バイオメディカル・動物愛護分野・海外分野

一般教養科目の充実

理学系・工学系・薬学系・社会学系・芸術学系
IT技術 (VOD) の活用
岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学

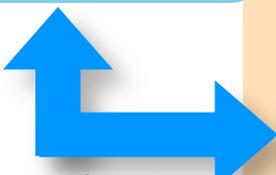
連携



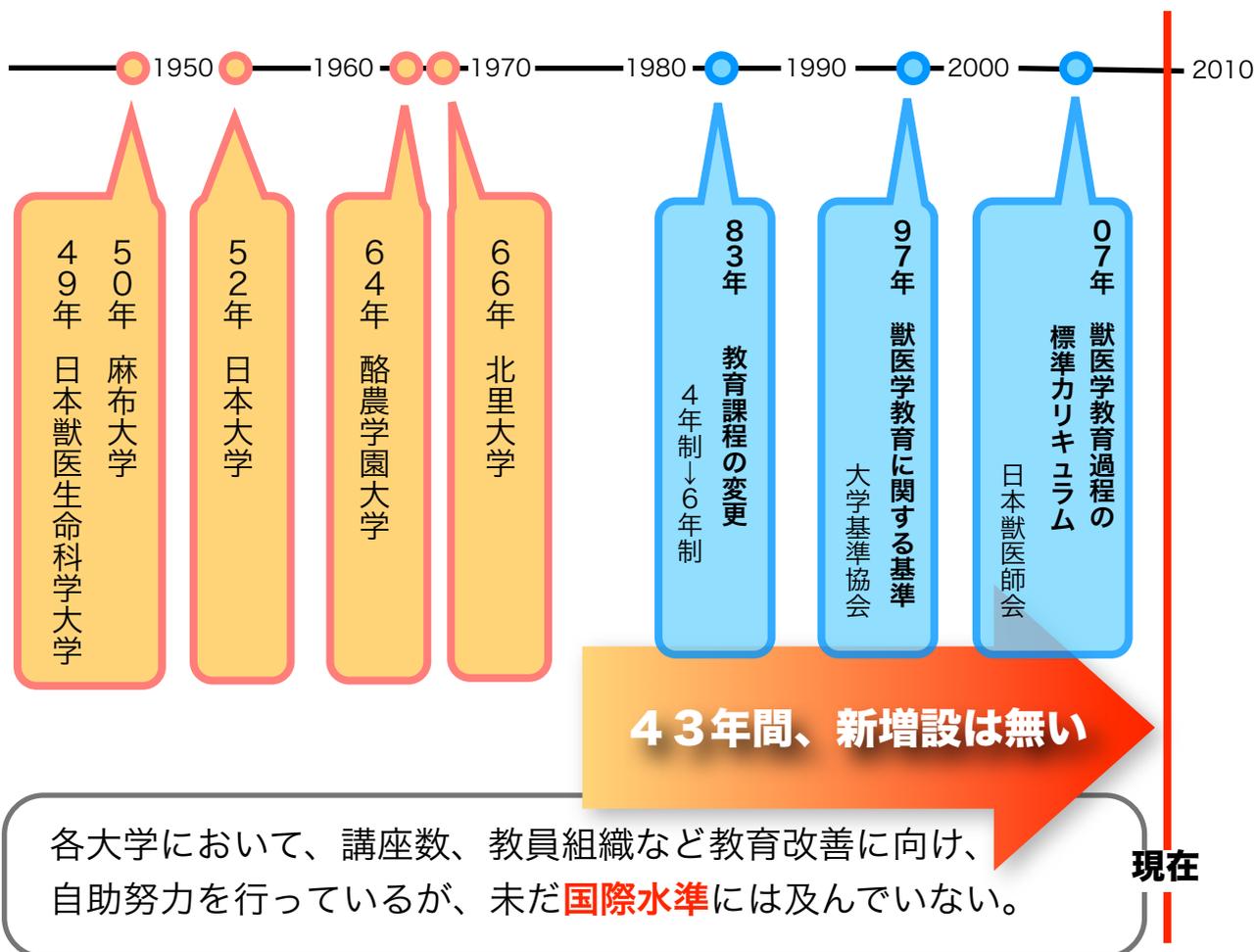
四国地域等の獣医師

愛媛・香川・高知・徳島他

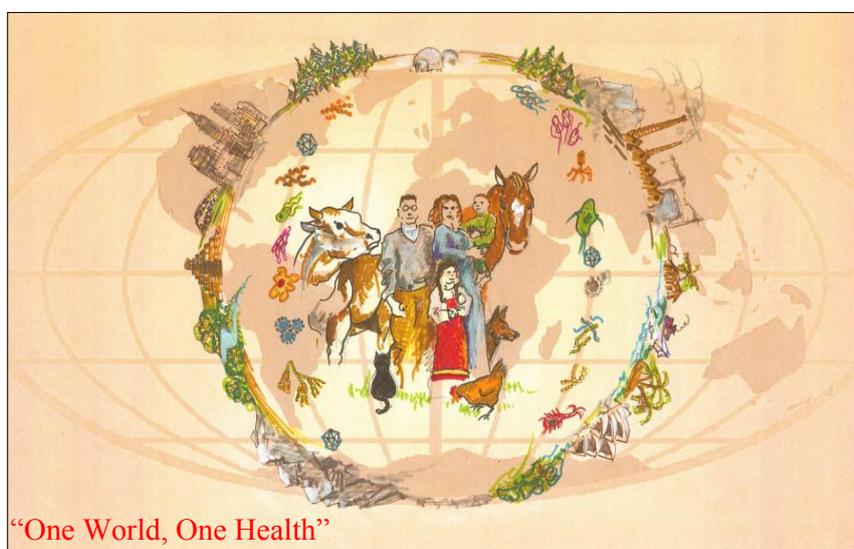
協力



(No. 4) 獣医師養成機関設置認可年表 及び 獣医学教育の動向



(No. 5) OIE 2009 提唱“One World, One Health”



Ilaria CAPUA博士による
OIEによる世界会議 “Evolving
veterinary education for a
safer world” (2009年10月)
にて基調講演の際に用いら
れた。現在、OIEのウェブサイ
トにて公開されている。